

学校の沿革

令和 3年度 (2021年度)	大規模改修工事3/4年次(北棟 2~4 階, 東門) 特別教室空調設備設置
令和 2年度 (2020年度)	可燃物・リサイクル・埋め立てごみ倉庫新設 ひとり1台タブレット端末整備
令和 元年度 (2019年度)	中庭のプレハブ倉庫の撤去 大規模改修工事2/4年次(北棟1階, 南・西棟4階)
平成30年度 (2018年度)	大規模改修工事1/4年次(校舎の外壁, 屋上, 東階段)
平成29年度 (2017年度)	西都小学校が分離開校(徳永・女原2町内が西都校区へ) クロガネモチを記念植樹 中庭・運動場のプレハブ教室・倉庫の撤去
平成28年度 (2016年度)	市教育員会校内研究推進事業授業公開
平成27年度 (2015年度)	全教室に空調設備開始 わいわい広場運用開始
平成26年度 (2014年度)	九州大学留学生との交流会を実施
平成25年度 (2013年度)	図書ボランティア読み聞かせスタート
平成23年度 (2011年度)	周船寺校区合併50周年記念樹「クスの木」を植樹
平成18年度 (2006年度)	ASIMO科学授業 学校図書バーコード化 太陽光発電機設置
平成17年度 (2005年度)	創立130周年記念航空写真撮影
平成14年度 (2002年度)	学校週5日制完全実施
平成13年度 (2001年度)	校内LAN整備・飼育舎「ふれあい動物の村」の改築
平成 7年度 (1995年度)	学校週5日制(月2回実施) 創立120周年記念式典挙行・120周年記念誌発行
平成 5年度 (1993年度)	第1回自然教室実施(5年生・背振少年自然の家)
平成 4年度 (1992年度)	学校週5日制スタート(第2土曜日休日)
平成 3年度 (1991年度)	新プール完成
昭和61年度 (1986年度)	講堂兼体育館完成・運動場拡張整備完了
昭和56年度 (1981年度)	運動場夜間照明設備完成・米飯給食開始・留守家庭子ども会発足
昭和54年度 (1979年度)	30人学級措置。同和加配校となる 講堂兼体育館として改築・本館防火扉及び火災報知器施設設備完成
昭和51年度 (1976年度)	創立100周年記念式典挙行・100周年記念誌を発行
昭和50年度 (1975年度)	市研究指定校として学習指導法の研究に取り組む 校庭東側ブロック塀及びフェンス完成 福岡市保健大会において良い歯の学校として優良賞を受賞
昭和49年度 (1974年度)	生水池との境界に防球壁ができる
昭和48年度 (1973年度)	鉄筋4階建本館完成・校庭外柵西側完成・本館解体(旧職員室・校長室・保健室・事務室・便所) 第14回学研教育賞を受賞

昭和44年度 (1969年度)	市研究指定校として学習指導法(国語・理科)の研究発表会を開催 旧講堂解体・講堂完成 旧校舎解体(第4棟)・新校舎増築(第3棟)
昭和41年度 (1966年度)	プール完成
昭和40年度 (1965年度)	プール建設着工(校区負担金70万円, 当時プールは市内に2校あり, 三宅小学校に建設中)
昭和39年度 (1964年度)	給食室改築
昭和38年度 (1963年度)	理科教育市指定校として発表会開催
昭和37年度 (1962年度)	防火栓完成
昭和36年度 (1961年度)	理科教育実験観察技能の育成の研究委嘱校として成果をあげ県教育委員会より感謝状を受ける 教育論文に応募し実験・観察の技能の育成の実践研究で1等賞を受賞 福岡市と合併し, 福岡市立周船寺小学校となる
昭和35年度 (1960年度)	理科教育優秀校として, フクニチ児童文化賞を受賞
昭和34年度 (1959年度)	運動場が約1.8a拡張され, 約65aとなる
昭和33年度 (1958年度)	福岡県教育委員会より理科教育県指定校として委嘱を受ける 周船寺簡易水道が本管東側に竣工
昭和32年度 (1957年度)	第3棟, 用務員室・調理室の新築・家庭科室を改築
昭和31年度 (1956年度)	校舎老朽化のため, 第1棟(本館) 第2棟を新築
昭和29年度 (1954年度)	給食室を新築
昭和26年度 (1951年度)	校歌制定(作詞徳永俊夫氏・作曲森脇憲三氏)
昭和22年度 (1947年度)	学制改革により糸島郡村立周船寺小学校と改称・高等科を廃止
昭和16年度 (1941年度)	戦時体制により糸島郡周船寺国民学校に改称
昭和10年度 (1935年度)	実習補習学校を青年学校と改称
昭和 8年度 (1933年度)	旧講堂建設(1986年解体)
昭和 2年度 (1927年度)	高等学校一学級増加(尋常科6学級・高等科2学級)
昭和 元年度 (1926年度)	実教補習学校の学則を改正し, 青年訓練所を実施
大正13年度 (1924年度)	実業補習学校の学則を改正し, 女子部を併置し, 男子部も昼間教授を行う
大正 6年度 (1917年度)	5か村組合立高等小学校の廃止により, その跡地(現在地)に尋常小学校が移転し, 高等科と併せ, 周船寺尋常高等小学校と改称
明治43年度 (1910年度)	夜間実業補習学校を設置
明治42年度 (1909年度)	周船寺尋常小学校が狭く不便だったので, 周船寺アマタに新校舎を建設し移転
明治31年度 (1898年度)	周船寺・怡土・今宿・今津・元岡の五か村組合立高等小学校が現在地に設立
明治22年度 (1889年度)	町村施行により6村(周船寺村・飯氏村・千里村・宇田川原・女原村・徳永村)を合わせて1か村とし, 各村を大字とした。宇田川原村分校を廃止し, 本校を合併して周船寺尋常小学校となる 小学校の分校となる又は, 独立小学校となり, 転変数度に及ぶ
明治18年度 (1885年度)	改築の工を起し, 周船寺東湯溜池の南側に校舎を新築, 以後2年間は, 今宿丸隅山東・湯溜池南側に校舎を建設し, 移転

明治14年度 (1881年度)	須専寺小学校が火災により全焼。妙正寺他2カ所の仮教場で4年間授業
明治 8年度 (1875年度)	周船寺・徳永・飯氏・千里・宇田川原の5か村で周船寺村屋敷ノ坪に校舎を新設し、須専寺小学校として開校
明治 7年度 (1874年度)	徳永村に寺子屋(私塾教員1名・児童39名)、千里村に千里小学校(教員1名・児童18名) 設立